



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	資料調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師( A )					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師( B )					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師( C )					
		1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				311,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		311,600	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	破損要因の推定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師( A )					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師( B )					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師( C )					
		1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				480,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		480,600	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師( A )					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師( B )					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師( C )					
		2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				454,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		454,200	
	*** S単 - 4号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工程,着事前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.22日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工程 2)打合せ	一般工程 着事前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04003	主任技師					
		0.720	人	64,800	46,656	
R04004	技師(A)					
		0.720	人	57,000	41,040	
	合 計				87,696	算出数量 1.000 回
	単 価		回		87,696	
	*** S単 - 5号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工程,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.22日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)設計工程 2)打合せ	一般工程 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04004	技師(A)					
		0.720	人	57,000	41,040	
R04005	技師(B)					
		0.720	人	47,200	33,984	
	合 計				75,024	算出数量 1.000 回
	単 価		回		75,024	
	*** S単 - 6号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工程,着事前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間, L < 100km ( 100km未満 )			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)設計工程 2)打合せ内容	一般工程 着事前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員	1人		深夜時間:0.0		
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.22日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	1,944円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	2時間 L < 100km ( 100km未満 )				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	1,944	1,944
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,650	1,650
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		5.400	L	161	869
	合 計				4,463	算出数量 1.000 回
	単 価		回		4,463	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業						
業務名 大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務						
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 7号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間,L<100km（100km未満）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.22日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別）	1,944円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	2時間				
	20)往復移動距離区分	L<100km（100km未満）				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	1,944	1,944	
M28121	イトバン[ガソリン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5,400	L	161	869	
	合 計				4,463	算出数量 1,000 回
	単 価		回		4,463	
	*** S単 - 8号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4,500,5cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)報告書部数(部)	1,000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	500				
	4)厚さ区分	5cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0,000				
P43422	報告書焼付代（コピ - ） A - 4以下 500枚	1,000	部	6,750	6,750	
P43542	簡易加除式ファイル A 4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1,000	冊	591	591	
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0,000	枚	47	0	
	合 計				7,341	算出数量 1,000 式
	単 価		式		7,341	

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:調査業務

九州農政局



[illegible]

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02112	管内カメラ		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	管内カメラ			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 機械器具賃料コード 2) 機械器具規格	F96001		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	250,000円		深夜時間: 0.0		
F96001	管内カメラ		1,000 日	250,000	250,000	
	合 計				250,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				250,000	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	技師 ( A )		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 ( A )			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04004	技師 ( A )		1,000 人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1,000 人
	単 価				57,000	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	技師 ( B )		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 ( B )			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04005	技師 ( B )		1,000 人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1,000 人
	単 価				47,200	
	*** S単 - 4号 ***					
S02115	技師 ( C )		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 ( C )			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 ( C )		1,000 人	38,400	38,400	
	合 計				38,400	算出数量 1,000 人
	単 価				38,400	
	*** S単 - 5号 ***					
S02115	技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04007	技術員		1,000 人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1,000 人

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				33,600	
	*** S 単 - 6号 ***					
S16004	ﾌﾌﾚﾝｼﾞｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)]		日		1,000	歩A 当たり算出
	ﾌﾌﾚﾝｼﾞｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)]			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ﾌﾌﾚﾝｼﾞｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型),25ton吊り,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械区分	ﾌﾌﾚﾝｼﾞｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)		深夜時間:0.0		
	2)規格	25ton吊り				
	3)運転1日当たり運転時間(T)	0.0				
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)	0.00				
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F01086	ﾌﾌﾚﾝｼﾞｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)]					
	吊上能力25t吊	1.000	日	54,000	54,000	
	合 計				54,000	算出数量 1.000 日
	単 価		日		54,000	
	*** S 単 - 7号 ***					
S18003	排水ポンプ運転		箇所		1,000	歩A 当たり算出
	排水ポンプ運転			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	4.常時排水,450以上～1300未満,発動発電機,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)運転日数	4		深夜時間:0.0		
	2)排水方法	常時排水				
	3)排水量(m3/h)	450以上～1300未満				
	4)動力区分	発動発電機				
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F05051	工用水中ポンプ (潜水ポンプ)					
	口径200mm	22.000	日	840	18,480	
F02060	発動発電機[ D 駆動・～超低・排対型(～3次)]					
	100kVA	4.400	日	5,800	25,520	
P34029	軽油					
	ﾊﾞﾄﾞｰﾙ給油	1,056.000	L	147	155,232	
R01002	特殊作業員					
		0.680	人	25,700	17,476	
Y00004	諸雑費					
		0.010		216,708	2,167	
	合 計				218,875	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		218,875	
	*** S 単 - 8号 ***					
S18004	排水ポンプ設置撤去		箇所		1,000	歩A 当たり算出
	排水ポンプ設置撤去			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1～5台,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)ポンプ台数区分	1～5台		深夜時間:0.0		
	2)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F08063	ﾊﾞｯｸﾙ[ｸﾚｰﾝ型・ｸﾚｰﾝ・～超低・排対型(～2014)]					
	標準ﾊﾞｯｸﾙ容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	0.580	日	17,700	10,266	
R01001	土木一般世話役					
		0.500	人	29,100	14,550	
R01002	特殊作業員					
		0.100	人	25,700	2,570	
R01003	普通作業員					
		2.000	人	18,500	37,000	
P34029	軽油					
	ﾊﾞﾄﾞｰﾙ給油	33.000	L	147	4,851	
R01021	運転手(特殊)					
		0.500	人	26,000	13,000	
	合 計				82,237	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		82,237	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63007	破損状況調査		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	9.00人				
	7)技術員の人数	9.00人				
R04003	主任技師 外業	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師(A) 外業	5.000	人	57,000	285,000	
R04005	技師(B) 外業	7.000	人	47,200	330,400	
R04006	技師(C) 外業	9.000	人	38,400	345,600	
R04007	技術員 外業	9.000	人	33,600	302,400	
	合 計				1,457,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,457,800	
	*** S単 - 10号 ***					
S63007	基準日額(破損状況調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師 外業	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C) 外業	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員 外業	2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				482,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		482,000	
	*** S単 - 11号 ***					
S63007	基準日額(管内カメラ調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.48人				
	5)技師Bの人数	0.48人				
	6)技師Cの人数	0.48人				
	7)技術員の人数	0.48人				
R04004	技師(A) 外業	0.480	人	57,000	27,360	
R04005	技師(B) 外業	0.480	人	47,200	22,656	
R04006	技師(C) 外業	0.480	人	38,400	18,432	
R04007	技術員 外業	0.480	人	33,600	16,128	
	合 計				84,576	算出数量 1.000 式
	単 価		式		84,576	
	*** S単 - 12号 ***					
S63018	旅費交通費(管内カメラ調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出

[illegible]



[illegible]

[illegible]



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務【一括計上価格】

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所



九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
工事名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務【一括計上価格】

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			19,040,000	
・製作工事価格			3,870,000	
・ ・ 機器単体費	1.000	式	3,875,000	
・据付工事価格			15,170,000	
純工事費(据付)			8,142,000	
・ ・ 据付工事原価			12,481,000	
・ ・ ・ 直接工事費			7,010,000	
・ ・ ・ ・ 直接工事費(共通仮設費対象)	1.000	式	7,010,000	
・ ・ ・ 間接工事費			5,471,000	
・ ・ ・ ・ 共通仮設費			1,132,000	
・ ・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
7,010,000 × ((15.830*1.000)*1.000*1.020)			1,132,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費				
8,142,000 × ((35.980*1.000)*1.000*1.050+0.000+0.000-0.000)			3,076,000	
・ ・ ・ ・ 機器間接費			1,263,000	
・ ・ ・ ・ ・ 技術者間接費			557,000	
・ ・ ・ ・ ・ ・ 技術者間接費(技術者)			333,000	
・ ・ ・ ・ ・ ・ 技術者間接費(技術員)			224,000	
・ ・ ・ ・ ・ 機器管理費				
3,875,000 × 18.220			706,000	
・ ・ 一般管理費等				
12,481,000 × (21.600*1.000)			2,695,000	
支給品費			0	
支給品費(機器単体費)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			0	
処分費(準備費の内数)			0	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			0	
共通仮設費算定控除額			0	
法定福利費概算額(工事価格の内数)				
15,170,000 × 3.850			584,000	

九州農政局

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
工事名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務【一括計上価格】

[illegible]

九州農政局

九州農政局



[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
工事名	大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務【一括計上価格】				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S02115	電気通信技術者		人		1,000	歩A 当たり算出
	電気通信技術者			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03003 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R03003	電気通信技術者	1.000	人		37,026	
	合 計				37,026	算出数量 1.000 人
	単 価				37,026	
	*** S単 - 2号 ***					
S02115	電気通信技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	電気通信技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03004 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R03004	電気通信技術員	1.000	人		24,888	
	合 計				24,888	算出数量 1.000 人
	単 価				24,888	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	設備機械工		人		1,000	歩A 当たり算出
	設備機械工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R02019 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R02019	設備機械工	1.000	人		27,234	
	合 計				27,234	算出数量 1.000 人
	単 価				27,234	
	*** S単 - 4号 ***					
S02115	電工		人		1,000	歩A 当たり算出
	電工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01013 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01013	電工	1.000	人		22,542	
	合 計				22,542	算出数量 1.000 人
	単 価				22,542	
	*** S単 - 5号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人		18,870	
	合 計				18,870	算出数量 1.000 人

[illegible]

九州農政局

九州農政局

[illegible]

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

特別仕様書

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

第1-1条（適用範囲）

令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条（目 的）

本業務は、大淀川右岸地区における天神ダム河川放流設備の破損要因の調査等を行うものである。

第1-3条（場 所）

本業務において対象とする天神ダム河川放流設備の場所は、宮崎県都城市山之口町地内で別添「業務位置図」に示すとおりである。

第1-4条（土地への立入り等）

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1-5条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序・方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1-6条（管理技術者）

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- (2) 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。



## 第1-7条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

## 第1-8条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1)受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2)農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

## 第1-9条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

# 第2章 作業条件

## 第2-1条（作業条件）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1)作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2)本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3)現地調査を行う時期は下記に示す期間を予定しているが、施設内へ立入る日程等、詳細については監督職員と打合せた後、実施するものとする。

施設名	実施予定時期	備 考
河川放流設備	契約締結日以降～令和7年3月	
導水管	契約締結日以降～令和6年12月	圧力管含む

- (4)導水管内の調査は落水状態を想定しているが、作業上支障となる状態が発生した場合は監督職員と協議する。
- (5)管内調査を行う場合は、労働安全衛生法等の諸法令を遵守して行うものとする。
- (6)管内調査に当たり、河川維持放流量0.15m<sup>3</sup>/sを確保するため、仮回し用の仮設ポンプを見込んでいるが、実施前に現地確認を行い、仮設工の変更が必要な場合は監督職員と協議する。

## 第2-2条（対象施設）

本業務の対象となる施設の諸元は、次のとおりである。

施設名称	規格	数量	備考
------	----	----	----

河川放流設備	圧力管：SUS管 φ 600 、L=15m 最大使用水量：0.4m <sup>3</sup> /s 最大出力：107kw 水車形式：クロスフロー水車	N=1基	小水力発電設備含む
導水管	FRPM管 φ 1350	L=100m	河川放流設備側から

#### 第2-3条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条による。

#### 第2-4条（貸与資料）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

分類	貸 与 資 料	数量
基礎資料	令和2年度大淀川右岸国営施設保全事業 天神ダム小水力発電施設補足設計業務 報告書	1 式
	大淀川右岸国営施設保全事業 天神ダム小水力発電施設製作据付建設工事 成果品	1 式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

#### 第2-5条（貸与資料の取扱い）

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

#### 第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。なお、詳細は別紙

1「作業項目内訳表」に示すものとする。

##### 【作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
【設計作業】		
1. 資料調査	1 式	
2. 破損要因の推定	1 式	
3. 点検とりまとめ	1 式	
【調査業務】		
1. 破損状況調査	1 式	
2. 導水管内調査	1 式	
3. 設備仮復旧	1 式	

### 第3-2条（作業の留意点）

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 破損状況調査については、製作工場（神奈川県厚木市）において実施することを想定している。なお、調査の結果、再利用不可と判断される部品等が確認された場合、監督職員と協議の上、それらの部品等を追加することがある。
- (4) 導水管内調査は自走式管内カメラによる調査を想定している。なお、調査の結果、追加調査が必要と判断される場合は、監督職員と協議の上、調査範囲の延長や別途調査を追加することがある。
- (5) 破損要因の推定において、再発の可能性があると判断された場合、再発防止対策の検討を追加することがある。

### 第3-3条（業務写真における黒板情報の電子化について）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

#### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### (2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」)及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を行う場合は、従来型の黒板を併用することはできない。ただし、高温多湿、粉じん等の現場条件により機器の使用が困難な場合は、この限りではない。
- 4) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は、納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

## 第4章 設備仮復旧

### 第4-1条（適用範囲）

- (1) 設備仮復旧にあたっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書（施）」）に基づき実施するものとし、同仕様書に対する特記及び追加事項は以下のとおりとする。

### 第4-2条（施工）

- (1) 工場における再整備にあたっては、破損状況調査結果より交換部品が必要となった場合は、監督職員に協議し、承認後に交換部品を含めた整備を行い、設備の機能回復を図るものとする。
- (2) 工場における再整備及び搬入据付等により塗膜の損傷が生じた場合は、製作時の塗装仕様と同等の塗装を行い仕上げるものとする。
- (3) 現地作業

a) 撤去

破損部位を含む設備の撤去範囲については別添図面に示すとおりであり、撤去にあたっては、既設設備に損傷を与えないように留意しなければならない。

なお、詳細な撤去範囲については、監督職員と協議の上、決定するものとする。

b) 据付

設備の据付にあたっては、既設設備に損傷を与えないように留意するとともに、既設設備に堅固に取り付けなければならない。

c) 検測又は確認（施工段階確認）

① 施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

② 下表に示す以外の工種は自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工種	確認内容		確認時期	遠隔確認	備考
1. 河川放流設備 （水車本体）	出来 形 管	監督職員が承諾した受注者の 施工管理基準（案）	据付時	—	

	理				
1. 河川放流設備 (水車本体) (1)組立検査	品質 管理	監督職員が承諾した受注者の 施工管理基準値 (案)	据付時	—	

#### d) 試運転調整

設備の据付後に導水管の充水を行い、有水による負荷試験を実施する。なお、試運転調整のための電気料金は、受注者負担とする。

##### ①メタル馴らし運転試験

水車発電機を連続運転し、各軸受温度が保証値内で安定するかを確認するものとするが、保証値内で安定しない場合は、監督職員と協議の上、対応方法を決定するものとする。

また、周囲温度・振動・軸振れ・水圧・回転音・流水音の異常を確認するものとする。

(4)既設構造物、既設電気設備等及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

(5)官公庁等への手続き申請等が必要な場合は、必要部数を速やかに作成し提出するものとする。

##### (6)提出図書

共通仕様書（施）第1章1-1-5に示す施工計画書、第1-1-6に示す承諾図書、第1-1-26に示す完成図書及び施工図の提出内容は、監督職員との協議より決定する。

## 第5章 打合せ

### 第5-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（破損状況調査段階）

第3回 中間打合せ（破損要因推定段階）

第4回 中間打合せ（再整備後据付前段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当者は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第6章 成果物

### 第6-1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1-7条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部
  - (2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）
- なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとする。

#### 第6-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町4778-1  
九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

### 第7章 契約変更

#### 第7-1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-1条に示す「作業条件」に変更が生じた場合
- (2) 第2-2条に示す「対象施設」に変更が生じた場合
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (4) 第4-2条に示す「施工」に変更が生じた場合
- (5) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (6) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (7) 履行期間の変更が生じた場合
- (8) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合
- (9) その他

### 第8章 定めなき事項

#### 第8-1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1 「作業項目内訳表」

【設計作業】

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 資料調査	貸与資料を収集・整理し、設計内容の確認及び工事成果品による工場検査結果（材料検査、溶接検査、強度試験等）、施工状況等の確認を行う。	○
2. 破損要因の推定	資料調査、破損状況調査及び管内調査結果を整理し、河川放流設備の破損要因の推定を行う。	○
3. 点検とりまとめ	業務成果資料の点検及びとりまとめを行い、業務報告書を作成する。	○

【調査作業】

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 破損状況調査	製作工場において破損個所の詳細調査を行い、異物衝突の痕跡等の確認、再利用の可否の確認等を行う。	○
2. 導水管内調査	管内カメラを用いて導水管（河川放流設備側からL=100m区間）及び圧力管（L=15m区間）の管内残留物の確認、管内破損状況（内面損傷等）の確認を行う。	○
3. 設備仮復旧	破損した設備の一部を撤去し、製作工場へ搬出する。 工場において、上記 1. の調査後に再整備を行い、現地へ搬入する。 再整備された設備を現地で据え付けるとともに、試運転調整を行い、仮復旧を行う。 なお、作業数量は別紙 2 「設備仮復旧作業数量表」に示すとおり。	○

別紙 2 「設備仮復旧作業数量表」

作業項目	材質・規格・仕様	単位	数量	備考
1. 設備仮復旧				
(1) 設備撤去工	設備（破損部位）の撤去	基	1	
(2) 運搬工	「現地～工場」及び「工場～現地」	式	1	往復
(3) 工場整備工	工場における再整備	基	1	工場整備品
(4) 設備据付工	設備（工場再整備品）の据付	基	1	
(5) 試運転調整工		式	1	

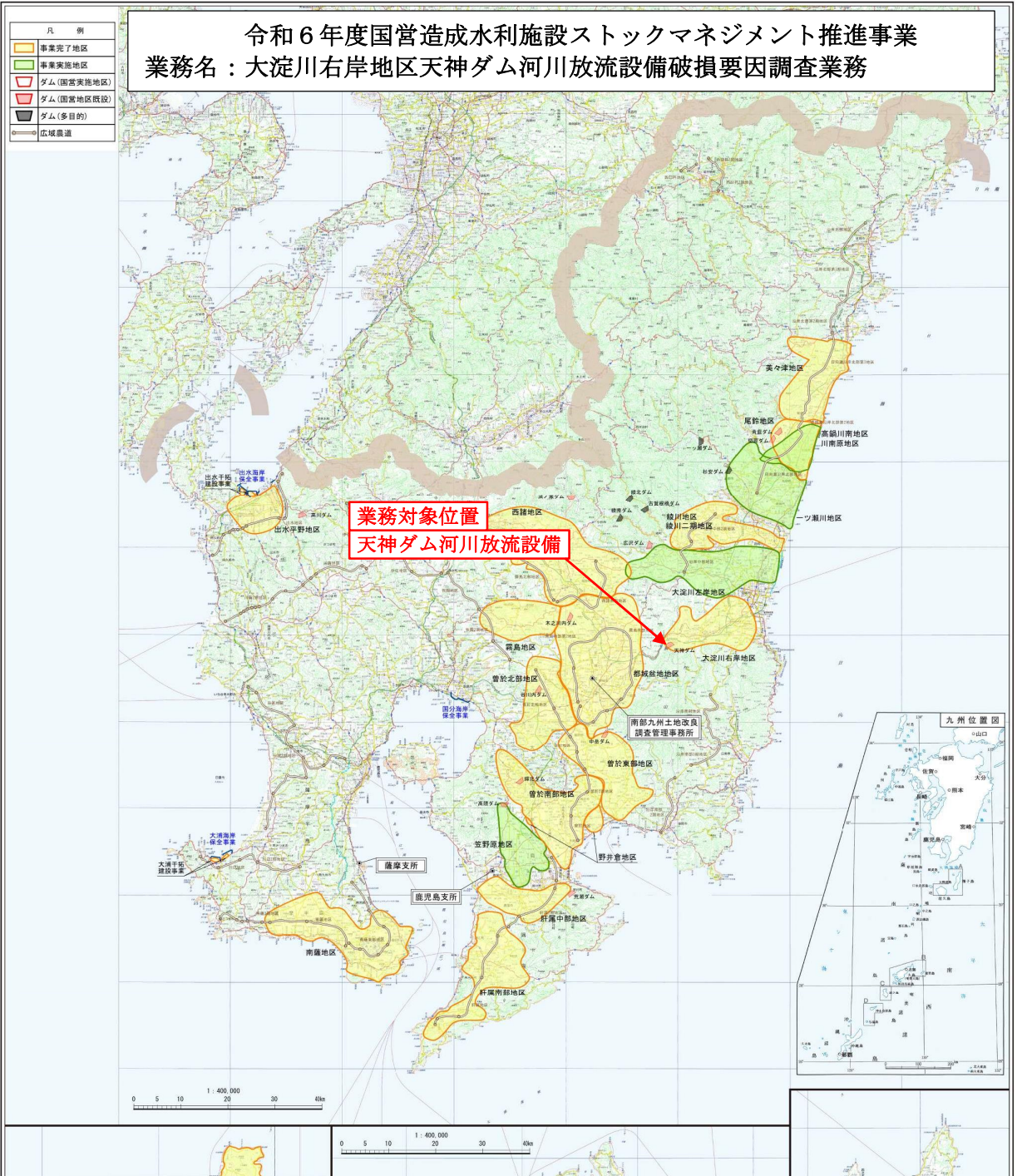


令和 6 年度  
国営造成施設水利施設ストックマネジメント推進事業  
大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務

図面目録

番号	図面名称	枚数	備考
1	業務位置図	1	
2	天神ダム全体平面図	1	
計		2	

業務位置図



令和6年3月

業 務 名	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務		
図 面 名	業務位置図		
作成年月日			
縮 尺		図面番号	1
会 社 名			
事務所名	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

天神ダム全体平面図S=1 : 1,500



天神ダム管理所

右岸側

監査廊出入口

ダム湖

選択放流施設  
取水塔操作室

管理橋

ダム湖 HWL=305.50

ダム天端標高 EL: 310.50

監査廊出入口

監査廊

管理用道路

漏水観測室

放流設備

高圧引込柱

左岸側

管内調査  
(導水管 φ 1350mm、河川放流設備からL=100m区間)

河川放流設備  
小水力発電設備

市道天神ダム湖線

下流水路

管理用道路

国道269号へ

至宮崎

国道269号へ

至都城

工事名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大淀川右岸地区天神ダム河川放流設備破損要因調査業務		
図面名	天神ダム全体平面図		
作成年月日			
縮尺	1 : 1,500	図面番号	2
会社名			
事業所名	九州農政局 宮崎中部農業水利事業所		